

GIKAI DAYORI



おおぞら
OZORA

ぎかいだより

北海道大空町議会
平成28年(2016年)2月15日発行

39号

平成27年12月 定例会



1月3日 新春もちつき&もちまき大会

「第2次大空町総合計画」を可決……………P02

平成27年12月定例会……………P06

- 地域振興施設整備の用地取得費用に係る
経費を増額補正 など

委員会レポート……………P16

常任委員会行政視察報告……………P18

第2期目の議会広報モニターが決定……………P21

「町民の声」田内 幸さんより……………P24

町政を問う! 一般質問

7名の議員が登壇

- 成年後見人制度の町の現状は ほか 2件 ……P09
- ふるさと住民票の考えは ほか 1件 ……P10
- 地域振興施設の今後のスケジュールは ……P11
- 東藻琴の地域振興施設整備計画の考えは ……P12
- 災害復旧事業の進捗状況は ほか 3件 ……P13
- 全国学力テストの結果を踏まえた ……P14
今後の対応は ほか 2件
- 地方版総合戦略、地方創生の考え方 ……P15

大空町

検索

<http://www.town.ozora.hokkaido.jp>



<計画の構成・期間>

- ・大空町が目指す将来像を設定し、実現するための大きな方向を示しています。
- ・期間は、平成28年度（2016年度）から平成37年度（2025年度）の10年間です。

- ・基本構想に定めた将来像や基本目標を実施するために行う施策を示しています。
- ・期間は、基本構想と同じ10年間ですが、中間年度である5年後に、必要に応じて見直しを行うこととします。

- ・基本計画に掲げた施策を、どのような方法でいつ行うのかなど、具体的な事業を示しています。
- ・期間は3年間で、毎年度、内容を見直ししながら進めていくこととします。

基本構想

基本計画

実施計画

<めざす指標>

【人 口】

平成25年3月に国立社会保障人口問題研究所が公表した人口推計によると、平成37年の大空町の人口は6,575人とされているが、本計画による子育て支援や地域活性化により、できる限り人口減少を緩和させていく取り組みが必要です。

大空町の人口の推移（国勢調査より）

平成12年	平成17年	平成22年	めざす人口 平成37年
8,946人	8,392人	7,933人	6,800人

※平成12年は女満別町と東藻琴村の合計

<5つの基本目標と計画の内容>

(1)にぎわい ひろがる

産業のまちづくり

- ①農林業の振興
（農業・畜産業・林業）
- ②水産業の振興
- ③観光産業の振興
- ④商業・サービス業の振興
- ⑤工業・地場産業の振興
- ⑥雇用機会の確保

(2)あたたかさ あふれる

福祉のまちづくり

- ①保健・医療体制の充実
- ②地域福祉の推進
- ③子育て支援の推進
- ④高齢者福祉の推進
- ⑤障がい者（児）福祉の推進
- ⑥社会保障の充実

(3)いきがい はぐくむ

学びのまちづくり

- ①幼児教育の充実
- ②学校教育の充実
- ③生涯学習の推進
- ④生涯スポーツの振興
- ⑤青少年の健全育成
- ⑥地域文化の継承と創造

「第2次大空町総合計画」を可決 (平成28年度から平成37年度)



平成26年から2年に亘り、計画策定に向け議論が交わされた「総合計画策定審議会」

将来像

夢を絆を

笑顔で彩る大空町

平成27年12月15日から17日まで開会された12月定例会において、将来の大空町の目指す姿と道筋を明らかにするため、『第2次大空町総合計画』が提案され、「総合計画調査特別委員会」に付託し、審査の結果、原案を可決しました。

(4)ゆたかさ うるおう 生活のまちづくり

- ①市街地・住環境の整備
- ②道路ネットワークの整備
- ③公共交通網の充実
- ④上下水道の整備
- ⑤生活環境の整備（環境・動物・ごみ・し尿）
- ⑥消防・救急・防災対策の充実
- ⑦交通安全・防犯体制・消費者対策の充実

(5)ふれあい つながる 協働のまちづくり

- ①コミュニティ活動の促進
- ②移住・定住対策の促進
- ③情報ネットワークの整備
- ④町民と行政の協働
- ⑤自律する自治体経営の確立

持っていたことを特にお願したところである。

東藻琴地区簡易水道整備事業
沢出委員 水源の調査をされたが、結果がいつ頃、どういう見通しになっているのか。

佐藤建設課長 今年度及び来年度に、水源地調査ということで流量観測、東藻琴側から女満別側へのルート検討が必要と考えている。

西倉日進線道路整備事業
沢出委員 路線も改良も終わっている路線がそのままになっていると感じたが。

高島建設課参事 平成4年頃から改良道路であり、舗装前提となっている。舗装新設として平成31年に実施の予定となっている。

畜産競争力強化整備事業
品田委員 両地区あるが、事業の概要はどうか。

伊藤産業課長 国の畜産クラスター制度によるもので、牛舎等の施設整備等を行える事業となっている。

まちゼミ事業補助金
品田委員 事業の内容を詳しく、またその必要性は。

秋葉産業課参事 商店主が講師となり、地域の方々に講習会等を開催する事業である。ゼミを通して、固定の集客、売上アップに大きく貢献するような事業など、商店街の活性化を進めてまいりたい。

地域就業若者雇用確保事業補助金
品田委員 事業の概要は。

秋葉産業課参事 一定年次、3年間ぐらいの賃金補償を行うことにより、正規雇用を促進するということを含め、平成28年度から実施したい。

東藻琴特別養護老人ホーム増床事業
品田委員 それぞれの地域に、どの程度床数を用意しなければという考え方を持っているのか。

※第2次大空町総合計画の内容について抜粋

【総合計画調査特別委員会の質疑応答】

介護予防・日常生活支援総合事業
上地委員 平成29年度、30年度の金額に開きがあるか。

南部福祉課長 平成30年度から、事業が国の法律に基づき変更となり、現在の見守りネット事業などを将来的にこの事業として取り扱い、改編して進めていく考えである。

東藻琴特別養護老人ホーム増床事業
上地委員 平成29年度までに増床すると聞いているが、「東藻琴」とあるが。

平田住民福祉課長 内部の検討の中で、周辺の土地の状況等を勘案し、東藻琴福祉会へ福寿苑の周辺の余剰の土地を活用し、増床の計画をサポートするのが望ましいのではないかと判断している。

認定こども園整備事業
上地委員 平成29年度に予算がついていて、女満別幼稚園管理費が平成31年度までの予算となっているが、詳しく。

佐々木生涯学習課長 認定こども園化に向け、各地区の施設の整備を計画的に進めていこうという考えである。

東藻琴特別養護老人ホーム増床事業
後藤委員 合併10年ということで、女満別福祉会と東藻琴福祉会、合併についてもう少し検討してほしい。

山下町長 現状十分な議論については取組めていないところがあるが、両福祉会にお願いしたのとは、どういう形ができるのか、協議の場をまずは

総合計画調査特別委員会の質疑応答のつづき

南部福祉課長

今回の30床で町としては120床になり、当分の間は確保できるであろうと。その他在宅介護の方向性がでくるので、将来的には短期入所など、そういう事業について考えていきたい。

研修会館建替事業

品田委員

形態、コンセプトについて聞きたい。

品田委員

田端生涯学習課参事 生涯学習のための施設と考えているが、内容については町民の方々の意見を聞きながら進めてまいりたい。

分譲地造成事業

昭和団地解体撤去事業

品田委員

昭和第3団地となるのか。

品田委員

藤田総務課長 解体撤去事業は現在女満別地区で販売している隣接地となるが、その団地の解体を行い、その後分譲しようと考えているので、販売状況を踏まえ計画を進めていきたい。

開陽中央線道路整備事業

品田委員

最終的にはどの辺までの改良となるのか。

品田委員

高島建設課参事 終点の位置については、ゴルフ場入口からもう1本国道側に入った朝日巴沢線の交差点までを本計画としている。

観光振興の計画策定

品田委員

計画策定事業について実施計画に入っているのかどうか。

秋葉産業課参事

観光振興一般事務費の中で、どのような形がいいのか模索しており、確定次第、ローリング等で掲載していきたい。

総合戦略

品田委員

総合戦略にある事業の予算を別建てで表示するとあったが。

林総務課参事

総合戦略にある事業に関して、総合計画の実施計画における各種事業の中に包括的に盛り込まれているということでご理解いただきたい。

合併時の基金残高及び町債残高等

品田委員

合併時の基金残高及び町債残高について、また、歳出の投資的経費の10年間の合計、10年間の収支について。

品田委員

藤田総務課長 平成18年度末の基金残高が26億8700万円、地方債残高が141億7000万円となっている。歳出の投資的経費の10年間の合計が133億4400万円、歳入歳出の収支不足が10年間で32億8700万円である。

経常収支比率

品田委員

財政指標として、経常収支比率が抜けている気がするが。

品田委員

藤田総務課長 経常収支比率の算定にあたり、臨時的経費および経常的経費の区分等を行わなければならない、今計画の中ではそこまでの区分はできないため、算出はしていない。

特別会計における繰出金

品田委員

特別会計における繰出金、法定外も入っているのか。

品田委員

藤田総務課長 一部の会計にあつては法定外の部分も含めた形で繰出金がある。

6次産業化推進事業

齋藤委員

加工

技術セミナーも始

まったが、セミナー

1方式の予算が、

販路拡大とかに向

けた事業費なのか。

伊藤産業課長

どうしたら販路拡

大、特産品づくり

に向けてられるか、

セミナーを開催し



開陽中央線道路（橋梁上部工）現場を、産業建設文教常任委員会で視察

ている。商品開発に伴う支援、企業化に向けた支援など、今後対策を進めていく。

コントラクター支援事業

齋藤委員

農家の大型に対する支援か、民間に対する支援か。

伊藤産業課長

農作業の受託組織づくりの必要性があるということで、組織をどう育成していくか、その中でどう支援するか、内容について詰めていく。

町営牧野管理費

齋藤委員

年度によって金額に差があるが、今後とも町営で進めていくのか。

伊藤産業課長

今後も牧場を継続する方法も一つかと思うが、管理いただく方の育成、後継者対策も含めて、検討していきたい。

グリーン・ツーリズム推進事業

齋藤委員

平成31年度からの予算計上となっているが、その意味合いについて。

秋葉産業課参事

ホスピタリィ意識の向上を図るための検討、模索をし、平成31年度から少しでも滞在をふやしていただき、体験していただく一助になるような事業展開を考えている。

旧豊住小学校運営管理費

齋藤委員

これからどう利用していくのか、平成37年度には6300万円計上されているが。

田端生涯学習課参事

生涯学習の施設として将来的に利用していただきたいと事務を進めている。最終年度で屋根と外壁の補修を予定している。

女満別中央病院医師確保対策補助金

松田委員

どういう性質のものか。中央病院に対する1億円の補助金との整合性は。

南部福祉課長

補助金には医師の住宅の部分の支援は含んでいない。今回医師住宅を改めて補助金という形で計画していこうというものである。

東藻琴特別養護老人ホーム増床事業

松田委員 大空町の介護はどうあるべきか、必要とされる介護サービスはどうか、町長の所見があれば。

山下町長

両地区同じような増床規模を目指し、どちらの地域であっても地域の方々に喜んでいただける、そんな介護を町としては推奨していきたい、そういう思いで福祉会の統合についても検討いたいただくようお願いをしている。

東藻琴小学校大規模改修事業

原本委員

体育館が耐力テストを受けていると思うが、計画の中でどのように取り組んでいるのか。

佐々木生涯学習課長

改築の方向で計画には載せており、内容については今後詳細を詰めていく。

山下町長

東藻琴児童センターも整備をし、体育館と併せて放課後児童対策として活用することを前提に、実施計画に盛り込んでいく。

経営所得安定対策事業

田中委員

戦略作物への作付転換を促すところだが、この戦略作物とはどういうものか。

山下町長

北海道のこの地域の特性を活かした薬用植物などを見つけていくことができないかという思いがある。また、穀物調整施設の整備により、管内の豆類が町に集中することになるので、付加価値を高めながら戦略的に売り出していくことを考えておかなければならない。

土づくり対策事業

田中委員

シロシストセンチュウの対策に関し、土の移動の制限しか対策がないということで、もし新しい支援の仕方の考えがあれば。

山下町長

新しい対策として国において出されている状況ではない。国の方針等が決まり、それが地域として応援できる内容であれば、しっかりと対処していきたい。

教育文化合宿補助金

松田委員

第2次総合計画の狙い、どういう方向へ大空町を進めていくのか。



2015バスケットボールフェスティバルin大空合宿公開試合

た語らいと協働でつくるそういったものを絆にし、新しい町の夢をしっかりとつくる。そこには皆さんの笑顔が必ずや訪れるものだと思っている。そういった夢を、次の10年の計画の中に見てとっていきいたいと思う。

松田委員 これからが本番だと思う。職員の皆さんはもちろん、議会も一緒になって汗を流すことも大事だろうと思う。議会、行政が一体となってまちづくりについて進めていただきたい。

山下町長 計画をつくるのが最終目的ではない。しっかりと実施をしていく、さらにはこの内容に足りないところを付け加えながら、取捨選択をしながら実行していく、その執行機関としての責務をしっかりと果たすことが私どもの役割だと思う。

平成27年12月 定例会(12/15-17開催)で決定した 主な内容をお知らせします。

(指定管理者の指定及び補正予算等について、賛成多数で可決されました。)

※詳細に対する質疑・答弁内容は要約して掲載しています。
詳細は、両地区図書館にある「会議録」をごらんください。
また、議会ホームページにある「会議録」もごらんください。

●議会ホームページURL：
(http://www.town.ozora.hokkaido.jp/docs/2015011300061/)

平成27年度補正予算

地域振興施設整備事業に用地取得費用に係る経費など、**4131万円を増額補正**
分譲地造成事業から**3179万円**、開陽中央線道路整備事業から**5831万円**などを減額補正し、一般会計総額**85億478万円**となりました。

指定管理者の指定

町内の施設等の指定管理者の指定について、下記の表の内容で提案され、審議の上議決しました。

管理施設の名称等	指定管理者	指定管理期間
女満別図書館 東藻琴図書館 女満別研修会館 女満別ゲートボールセンター 女満別B & G海洋センター 東藻琴B & G海洋センター	一般財団法人 大空町青少年育成協会 会長 合田 秀 樹	平成28年4月1日から 平成31年3月31日まで
農業研修生等受入施設	オホーツク網走農業協同組合 代表理事組合長 岡 本 一 男	平成27年12月21日から 平成48年3月31日まで
大空町管理の道路橋梁及び河川	大空総合管理協同組合 代表理事組合長 郷右近 英 宣	平成28年4月1日から 平成31年3月31日まで
藻琴山温泉芝桜公園	株式会社東藻琴芝桜公園管理公社 代表取締役 八重樫 光 司	平成28年4月1日から 平成31年3月31日まで

質疑と答弁

松田議員 農業研修生等受入施設の指定管理期間について、20年4カ月ということだが、長い指定期間の合理性、その効果は。どう整理されたのか。

田中産業建設課長

オホーツク網走農協と別途覚書を取り交わしており、農業振興負担金を毎年度町に納入いただくことになっている。その年数が20年で予定しているため、指定管理の年数

についても20年とさせていただきます。

松田議員 受入は実情に合わせて適切に運営してほしいと思う。

山下町長 20年としても、町とJAの関係をしっかりと保ちながら、町の意向が反映されないことのないような体制を考えながら進めてまいりたい。

条例

第3次使用料・手数料の改定

町では受益者負担の原則と公平性の確保、算定方法の明確化を図り社会情勢に合うように、改定サイクルを3年として見直しが行われています。今回使用料の一部で見直しがされました。

使用料・手数料

- 使用料…公共施設の利用の対価
- 手数料…住民票発行などの役務の対価として利用者が負担する公共料金

その他

本郷排水機場の維持管理

平成26年度完成、平成27年度から供用している本郷排水機場は、平成28年度より国から大空町、美幌町で管理委託を受けることとなります。2町で土地改良法の規定に基づき、排水機場を町の土地改良(維持管理)事業として、施設の管理操作、気象情報の記録などを行うものです。

質疑と答弁

松田議員

排水機場の通常時の管理、また議案にある事業費の負担、地元100%とあるが、どういうことか。

中村産業課参事

常時運転している電動機ポンプについて本郷排水機場運営委員会と協議して方針を決めたい。また国の補助60%を除いた40%部分について100%地元負担ということである。

専決処分の報告及び承認

町有建物ブレーカー漏電事故により発生した家電

★12月定例会の際に審議した陳情等の結果

番号	件 名	採択	議員配布対応	継続審査
1	北海道のすべての子どもたちにゆきとどいた教育を求める陳情		○	
2	「新たな高校教育に関する指針」の見直しを求める陳情		○	
3	国の教育予算を増やして「高校無償化」を復活し、給付制奨学金の確立を求める陳情		○	
4	「大学生への給付制奨学金創設」を求める陳情		○	
5	特別支援学校の「設置基準」策定を求める陳情		○	
6	TPP「合意」内容の徹底した情報公開と検証を求める要望意見書	○		

要望意見書

次の表のとおり、所管委員会等で協議した結果、6件のうち1件を採択、5件を議員配布することになりました。

損壊に対する和解及び損害賠償の報告3件を承認しました。

国への要望意見書を 全会一致で採択

採択した情報公開と検証を求める要望意見書

徐々に公開されつつあるTPP「合意」内容をみると、国会決議違反と言わざるを得ない農産物関税の扱い、医療制度など、国民の暮らしにかかる懸念事項についても疑念は完全に解消されていない。よって政府において、国会における承認手続きに入る前に交渉過程を含めた徹底した情報公開を行い、合意内容の全容と影響などについて国民各層に対する説明責任を果たすこと。また国会においては、国会決議との整合性について真摯に徹底した検証を行うこと。その結果、国会決議に違反すると判断された場合は、速やかにTPP合意を撤回することを強く要望するものです。

次のとおり、本定例会において、国に対して1件の意見書を提出しました。



町政を問う!

(一般質問7人)

- | | |
|---|---|
| <p>☆^{うえち}上地 史隆 議員 9ページ</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 成年後見人制度の町の現状は 2. 冬期生活支援事業の今後 3. 地域防災計画にある自主防災組織の考えは | <p>☆^{さわで}沢出 好雄 議員 13ページ</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 災害復旧事業の進捗状況は 2. 河川管理における関係機関との協議体制は 3. 道路・河川の維持管理の指定管理者選定結果 4. 技術系職員の増員の考えは |
| <p>☆^{たなか}田中 裕之 議員 10ページ</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. ふるさと住民票の考えは 2. マイナンバー制度の現況はどうか | <p>☆^{さいとう}齋藤 宏司 議員 14ページ</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 全国学力テストの結果を踏まえた今後の対応は 2. 被災地支援活動を通じた成果及び課題は 3. メンタルヘルス対策と人事評価制度の現状 |
| <p>☆^{はらもと}原本 哲己 議員 11ページ</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 地域振興施設の今後のスケジュールは | <p>☆^{ふかがわ}深川 昇 議員 15ページ</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 地方版総合戦略、地方創生の考え方 |
| <p>☆^{しなだ}品田 好博 議員 12ページ</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 東藻琴の地域振興施設整備計画の考えは | |

平成27年第4回定例会では、7人の議員から、町の施策などに関する一般質問が行われました
 ※質問、答弁の内容は、要約して掲載しています。
 詳細は、議会ホームページ
[\(http://www.town.ozora.hokkaido.jp/docs/2015011300061/\)](http://www.town.ozora.hokkaido.jp/docs/2015011300061/)
 及び両地区図書館で閲覧できる会議録をご覧ください。

「議会インターネット中継」のお知らせ

議会の情報公開を進めるため、インターネット上でライブ中継、録画映像を無料で配信できる「ユーストリーム」を活用し、議会審議状況のインターネット中継を行っています。
 傍聴に来られない方など、直接議場へお越しただけなくとも、ご家庭などでもご覧いただけます。ライブ中継のほか、録画映像の配信も実施しています。(議会後30日以内)

問 町の成年後見人制度支援事業はどのような状況か

答 現時点まで申立者はいない状況である

上地議員 成年後見人制度とは、認知症や知的障がい、精神障がいなどの理由で、判断能力が不十分になった人を法律面や生活面で保護、支援する仕組みだが、必要性に対して利用する人が少ないことが課題となっている。町の状況はどうか。

山下町長 今後申し立てを要する案件が見込まれると判断し、昨年要綱を制定し、費用負担や報酬額の助成などを決めているが、現時点まで申立者はいない現状である。認知症高齢者の増加に伴い、後見人の育成、活用を図るための研修等の実施に努めることとされており、平成24年度に北海道と美幌町、津別町、大空町の共催により開催し、本町から6名が受講された。その後もフォローアップ研修が平成25年度、平成26年度に各2回開催され、それぞれ本町から4名参加している状況である。

上地議員 成年後見センターの開設の考えは。

山下町長 近隣の事例を参考にし、今後組織化に向けて、形態や運用について協議を進めていきたい。

問 今年度、冬期生活支援事業を行う考えはあるのか

答 現状灯油価格は安い水準で推移しており、現状として取り組むことは考えていない

上地議員 冬期生活支援事業について、住民税が非課税となっている低所得者や高齢者、ひとり親世帯などに対し、各市町村が灯油の引換券や現金などを支給する制度であるが、今年度は灯油が安値傾向で推移していることを受け、今冬実施する自治体が大幅に減少する見通しとなっている。道内では電気料金の高止まりで家計の負担は厳しい状況が続いていて、福祉灯油の継続を求める声も上がっている。町としてどう判断するのか。

山下町長 事業の実施に当たっては、11月1日を基準日として、その年の4月1日現在の灯油価格と比較して10%以上価格が上昇している場合、もしくは11月現在の価格に対し、1月15日の価格が10%以上上昇している場合について実施をしてきた。今年度は灯油価格が前年と比べ現在3割以上安い水準で推移している。また北海道からの支援も予定されていない状況であり、現状として取り組むことは考えていない。

問 自主防災組織の現状は

答 東藻琴で1組織が結成され、女満別でも設立の可能性を検討いただいている

上地議員 町では地域防災計画の変更が行われ、計画の中にある自主防災組織について、現在どのような状態なのか。



今年度の防災訓練の様子

上地議員 自主防災組織の組織率が100%に近い町に視察に行ったが、災害が少なく、住民の危機意識が高くないと実際に組織が機能するかわからないと、担当の話があったが、これにどう考えるか。

山下町長 組織は作ってもそこに魂が入っていないと、なかなかいざという時に動ききれない。防災教育やさらにはその訓練というところで、自助と共助の考え方をしっかりと持たせていただくため、そういうアプローチをしていかなければならない。

山下町長 今年の4月に東藻琴北1自治会自主防災組織が結成された。設立後、北海道地域防災マスター認定研修会の参加、防災資機材の整備の検討など、活動が始まっている。女満別地区ではまだ結成した自治会はないが、豊里、住吉地域の自治会の方々に説明を行い、設立の可能性について検討をいただいている。

上地議員 自主防災組織や町内自治会でも、名簿の取扱いについて指導すると聞いたが、施設可能な場所への保管、名簿を取扱う者を限定するとかがあるが。

山下町長 名簿の提供先として、消防署、消防団、警察署、民生委員児童委員、社会福祉協議会、自主防災組織について、法律によって規定されている。その他、町が覚書を締結して、自治会を対象として名簿の提供を図ることを考えている。



田中 裕之 議員

問 「ふるさと住民票」制度の所見を伺いたい

答 問題点や予測される効果について調査をする

田中議員 複数地域への居住について、国も地方創生の総合戦略で本格的な推進を掲げているが、町長の所見はどうか。

山下町長 提供を想定するサービスの例には、パブリックコメントの参加など、まちづくりに関わるものもあるので、実施するとした場合、十分検証しなければならぬ事項が多いので、問題点や効果について調査したい。

「ふるさと住民票とは？」

都市部と過疎地といった複数自治体の居住を促し、地域活性化につなげるもの。

民間シンクタンク：「構想日本」が提案。

- 対象者の例
 - ・ふるさと納税を行った人
 - ・災害などで他市町村へ避難移住している人等
- 提供するサービスや取組み例
 - ・自治体広報の発送
 - ・パブリックコメントの参加
 - ・住民投票への参加
 - ・公共施設の住民料金での利用 等

※「構想日本」HPより参照

田中議員 ふるさと納税をされている方も対象となるが、例えば広報を送ったり、町の行事やお祭りに参加していただいたり、そういう考えはあるのか。

問 マイナンバー制度の町の現況はどうか

答 今後もトラブルのないように対策を講じてまいりたい

田中議員 本町でも通知カードの配送が始まっているが、報道では、誤配送や特殊詐欺の被害、役所窓口での誤交付などもあるという。本町での現況はどうか。

山下町長 送付件数3086のうち返戻が347通あった。返戻されたものについて3カ月間保管することになっており、その後は廃棄となる。制度について、町広報誌で重ねて周知を行っており、今後トラブルのないように対策を講じてまいりたい。1月から個人番号カードの交付が始まるが、交付に当たり、窓口職員への指導やセキュリティ管理の徹底に努めていきたい。

田中議員 制度に関する研修は行われたのか。

山下町長 住民課、福祉課、住民福祉課の職員を中心とし、取扱いに対する説明会、啓蒙研修を行った。

田中議員 通知カードが手元に届かなければ再発行となり手数料が発生することになるが、手数料は大体いくらか。

問 施設はどのような形で運営されるのか

答 指定管理者制度の導入を考えている

原本議員 建物の設計が進んできているが、どのような形で運営されるのか。

山下町長 平成27年2月に、東藻琴地区の商工会の会員の皆さんが中心となり準備会を立ち上げ、運営会社の法人化や運営形態などの協議を進められている現状である。運営は指定管理者制度の導入を考えており、近々準備会の開催が予定されており、会社組織の出資金の額や役員等の協議がなされると聞いている。

原本議員 地域の拠点、核となって新しい地域活性化のカンフル剤的なものになることを願っている。

山下町長 地域の皆さんに協力をいただきながら、この施設が地域の中でより良いものとなっていくように、私も努力をしてまいりたい。

《地域振興施設の今後のスケジュール》

- ①契約内容の説明～
 - ・用地買収等に係る補償内容の説明
 - ・建物の撤去等の期日確認（平成28年6月を目標）
- ②契約の締結～
 - ・土地売買契約等の締結（前払金の支出）
- ③買収費・補償費の支出～
 - ・予定地の更地を確認したうえで支払
- ④本体工事の工期～
 - ・着工予定 平成28年7月～
 - ・完了予定 平成29年3月
- ⑤施設の供用開始～
 - ・平成29年9月頃（目標）

山下町長 通知カードの再発行は、手数料条例の中で500円と考えている。

田中議員 特養など施設入所者の方々のマイナンバーの取扱いはどうなっているのか。

山下町長 施設入所されている方の分も含め、世帯主の方にお渡しをしている。ただ1人で世帯主になられている方については、施設に送り厳重管理をお願いしているところである。

平成28年1月から、社会保障・税・災害対策の手続きで、マイナンバーの利用が始まります。

こんな場面で、皆さんもマイナンバーを使います。

学 生 ●アルバイトの勤務先に ●奨学金の申請時に ●勤労学生の手続きに	主婦・保護者 ●パート・アルバイトの勤務先に ●出産育児一時金や育休の申請時に ●児童手当の申請時に
従 業 員 ●扶養控除等（異動）申告書など会社に提出する税務関係書類に ●健康保険や雇用保険、年金などの手続きに	高齢者・障害者など ●年金給付の手続きに ●福祉や介護の手続きに ●災害時の支援利用時に
外 国 人 ●中長期在留者や特別永住者などの外国人も税や社会保障等の手続きでマイナンバーを使います。	ずっと使うから大切にね！

総務省HP「マイナンバー制度」より



議会だよりへのご意見・ご要望を募集します！

『議会広報常任委員会』では、より読みやすく、親しみやすい広報誌を目指して、常に検討しながら作業にあたっています。

皆さんのご意見・ご要望をどんどんお寄せ下さい。お待ちしております。

【ご意見・ご要望などはこちらまで】

〒099-2392 大空町女満別西3条4丁目1番1号 大空町役場内
大空町議会事務局 TEL:0152-74-2111 (内線266)



品田 好博 議員

問 東藻琴地域振興施設の道の駅の登録は考えているか

答 前向きに登録検討したい

品田議員 登録することにより、パブリシティ(無料広告)という形で搭載され、認知度が上がり、効果が大いと思う。

山下町長 集客力のアップにつながり、大きな効果を期待できる。

問 指定管理料の考え方は

答 町として経費を負担することも考えている

品田議員 指定管理料はゼロに近いという話だが、受け皿の運営会社の形態、会社設立の目安は。

山下町長 現在、出資等の額、役員数について協議がなされている。指定管理料は高い公共性の部分もあるので、経費負担することも考えている。会社形態は株式会社である。

問 事業計画を要望しているが、動きが遅いのではないか

答 順次、検討がされることになっている

品田議員 本当にやろうとする意識があれば、行政の進め方と受け皿となる運営会社の歩みが、並行でなければならぬと申し上げてきた。

山下町長 町も参画しながら議論の推移を見守りたい。一方で、サポートしながら進めてまいりたい。

問 行政コストが上がるのではない

答 目先の収益だけが行政の役割なのかも考えなければならぬ

品田議員 収益性については、会社が立てた訳でもなく、固定資産税を払わなくてもいい、家賃も払わなくていい、すなわち減価償却もしなくていい、それはすべて、行政が持つことになる。一切の歳入がないということである。

山下町長 準備会の皆さんが慎重に、官の作った当初の収益のところをさらに踏み込んで計算されると思っている。

問 直近の数字を町民に示すべきでは

答 町広報や地域懇談会で説明している

品田議員 今日の議論を前にして、町民の皆様方

合計3億1600万円となった。

問 河川管理における関係機関との協議体制は

答 町としては適切な維持管理をお願いしていく

沢出議員 サラカオーマキン川の堤防決壊により甚大な被害が発生したが、河川敷地、堤防敷地内の立木などの伐採整理について、河川改修も含め、関係機関等が相互理解を図れるよう、町が中心となり協議の場をつくり問題解決を図ってほしい。

山下町長 河川下流の堤防敷地内には樹木が多数あり、流下の支障となっているのではないかと、私も北海道に要望したところである。北海道は、樹木の伐採を計画し既に一部作業を開始している。現在は、決壊した箇所から50m程度の区間の伐採が完了している。町としては今後も適切な維持管理をお願いしていく。



サラカオーマキン川堤防敷地内の被災状況 (H27.10.11撮影)

にはつきりとした直近の計画を示すことが大事だと考えている。

山下町長 今後何回となく重ねながら、大空町全体の皆様方に施設の必要性、今後の運営について説明してまいりたい。

問 建物の外観が一新されたのはなぜか

答 ヨーロッパの山岳地帯の牧野的なイメージに整理したところである

品田議員 地域のイメージにそぐわないのではないか。ノンキランド、そしてひときわカントリーな街並みに突如出現したシティホテルといった感じがする。そう考えるのは私だけではないでしょう。

山下町長 なるべくシンプルにつくりとして、突起物を極力なくし、機能を優先させた酪農のイメージ、地域の皆さんにも親しまれるように、白壁に黒のアクセントで全体をひきたたせるデザインである。

<地域振興施設 財源及び外観図>

●財源の内訳 (概算)	
◎総事業費	8億7,500万円
○内 訳	
・国からの交付金	2億1,000万円
・合併特例債	6億 300万円
・基金取崩	6,200万円



問 道路河川の維持管理の指定管理者選定について、職員数は確保されているのか

答 両地区に業務処理責任者を立て、業務を行える体制にしたい

沢出議員 道路河川の維持管理の指定管理者選定結果について、職員の体制で職員数は確保されていると理解しているのか。また資格所有者とはどのような資格を指しているのか。

山下町長 今回、平成28年度以降の指定管理の方針にあわせて、常時雇用者の配置を、女満別5名、東藻琴4名に変更をして、それぞれの地区に業務処理責任者を立てて業務を行える体制にしたいと考えている。また資格についてだが、土木施工管理の技師等の資格を求めているものではなく、車両の運転に必要な大型免許や大型特殊免許など、車両運転の免許を指している。

問 町の技術系職員の増員の必要性を感じるが

答 年齢バランスにも配慮した採用、職員の配置も検討していく

沢出議員 町として維持・管理状況の点検、指導、監督までを遂行する技術系職員の増員の必要性を感じたが、経験者などの増員を図るべきではないか。

山下町長 両地域の実情をしっかりと把握できる職員づくりを考えていかなければならない。また、現行の技術系職員の年齢構成について若干高いため、今後、年齢バランスに配慮した採用を検討していかなければならないし、職員の配置についても検討していく。

問 台風23号の災害復旧の進捗状況は

答 今年度さらには平成28年度にかけ、復旧事務を執り進めている

沢出議員 台風23号の災害対策の対応について、町が管理する施設の被災状況は、建物や公共施設、道路橋梁などで約100箇所近くの報告があった。また、農家個々が被災した農地や農道、現在まで復旧がどの程度進んでいるのか。

山下町長 被災箇所について現在で、道路が全部で119箇所、河川が18箇所となっている。道路は現在までに11本の工事を発注し、年度中に107箇所の完了を見込んでいるが、12箇所は平成28年度の実施を予定している。河川については年度内の工事完了を目指している。農地については229箇所が被災を受け、早急な対応が必要な農地については、多面的機能支払交付金制度を活用し、外注による復旧対応を行ったり、農業者自らの復旧に対し日当や機械使用料を支援している。被害額としては、平成27年度、平成28年度にかけ、道路で1億1800万円、河川で4300万円、農地は災害復旧事業、多面的機能支払交付金制度を合わせ1億5500万円、



沢出 好雄 議員



齋藤 宏司 議員

問 全国学力テストの結果を踏まえ、課題と今後の対応策は

答 これまでの取組みの効果を検証し、さらなる学力向上対策を講じていく

齋藤議員 今回実施された全国学力テストについて、大空町の小学6年生の平均正答率がすべての教科において全道平均を下回った結果を踏まえ、課題と今後の対応策について伺いたい。

渡邊教育長 結果を受け、これまでの取組みの効果を検証し、学校における組織的、継続的な取組みを強めるとともに、危機意識を持つて補充学習や家庭学習の定着、規律ある生活習慣の確立など、さらなる学力向上対策を講じていかなければならない。また、学校や家など、教育に携わるすべての人達と課題を共有し、連携、協力して大空町の子どもの学力向上が図られるよう一層努力してまいりたい。

齋藤議員 小学6年生の対応はどう考えているか。
渡邊教育長 朝学習や基礎を中心としたテストの繰り返し実施、さらに複数の教員による授業指導や児童の実態に応じて2グループに分けて行う習熟度別指導を実施している。また、ゲームやテレビの時間を減らし、家庭学習時間を増やす取組みも行う予定である。

齋藤議員 ストレスに本人が気付いていない場合もあると思う。個々の判断また上司の判断もあると思うが、行政としてどういう形で判断していくのか。
山下町長 実際にストレスを溜めながらなかなか仕事に手につかない、体調を崩すとなったとき、職場としてどのように対応するか、非常に個々の状況によって対応が異なり難しいというのが感想である。多様な対応がとれる柔軟な組織でありたいと考えている。

問 人事評価の現状と課題は

答 職員の資質向上につなげることを目的とし、評価者に対する研修を継続して行う

齋藤議員 人事評価の現状と課題について伺いたい。

山下町長 人事評価制度については平成21年度から実施しており、単に評価するだけでなく、評価者が職員と面談を行い、結果における現状確認、職員の資質向上などにつなげていくことを目的としている。評価については複数の職員が評価者となるため、評価の視点が均一となるように研修も継続して行っている。

齋藤議員 人事評価で、評価者に対する研修とはどのような内容なのか。

藤田総務課長 評価者となる職員に対し、2・3年に1度研修を実施している。どのような視点で評価すべきか、着眼点、職員を比較しての評価とならないよう同じ目線に立った評価が重要となる。研修の中で事例をもとに実際に評価を行い、その評価がどうであるかというような検証を行っている。継続して行う必要があると考えている。

齋藤議員 何か目標があれば決してできない学年ではない。きっかけを与えることも必要ではないか。
渡邊教育長 明確な目標を持つことで、学習面や生活面において一人一人が前向きで積極的なものとなるよう、指導の改善に一層努めてまいりたい。

問 今後の被災地支援活動についてどう考えるか

答 団体や個人が行う活動などに対し支援をしたい

齋藤議員 被災地支援活動について、今年度で一区切りということだが、まだ続けてほしいという町民の声もある。これまでの被災地支援の成果、課題、また、民間団体や個人に対する費用の一部助成の考え方は。

山下町長 いままで支援を続けるべきかについて、仮設住宅に暮らされている方々の支援活動が中心となっていたことから、仮設住宅が解消された時が一つの目安かと考えていた。支援先である陸前高田市の米崎小学校、高田高校の仮設住宅が今年度限りということもあり、支援活動を平成27年度で一区切りとしたいと考えている。今後は、団体や個人が被災地に向く支援活動などに対し、町として支援をしたい。

齋藤議員 文化交流、産業交流など、行政として



深川 昇 議員

問 地方版総合戦略、地方創生について、空港をもっと多くの事業に利用すべきでは

答 今後も利用拡大と利便性の向上に取り組み、地方創生につなげていく

深川議員 地方版総合戦略、地方創生について、空港のある町として、空港から5分で着く町、空港とともに知名度アップ、空港という素材を持って多くの事業、その他良い影響があると考えているが。

山下町長 空港の利用促進について、周辺自治体や経済界などと連携して、空港路線の維持拡充に関する要望活動やプロモーション活動など、地域PRと利用拡大を図っていくこととしている。空港のある町の優位性は、大空町に来て移住しよう、そして地域に居る方が住み続けたいという定住観念、さらには交流人口の誘致、観光につながっていくと考えている。

深川議員 女満別空港を、例えば賑わいづくりとか、さらに付加価値が付くような形でPRをしていければと思うが。

山下町長 今年、女満別空港の国際化を見据えた空港の整備、利用促進、空港機能の強化に関し、設置者である北海道知事への要請活動を行ってきた。

どのような形できっかけをつくるのか。

山下町長 陸前高田市と大空町という関係を持ちながら活動してきたという実績はない。町民の方々が別な形の活動をとることであれば、財政的な面で支援をしてまいりたい。



昨年度の被災地支援活動のようす（陸前高田市 米崎小学校仮設住宅）

問 職員のメンタルヘルス対策は

答 健康第一で職場環境づくりに取り組む

齋藤議員 50人以上の従業員を有する職場でストレスチェックが義務化されたが、今後のメンタルヘルス対策をどう考えているか。

山下町長 役場では今年、50問の設定でストレスチェックを実施した。個人に結果が通知され、必要な場合は労働時間の短縮などの対策を行うものとなる。健康第一で職場環境づくりに取り組んでいかなければならない。

産業はもちろん、観光、交流の拠点、大空町にとって貴重な財産であり、町を運営していく、活性化していくための生命線であると考えている。今後も利用の拡大と利便性の向上に取り組んで、地方創生につなげられるように努力していく。

深川議員 現時点で空港をメインにして売り出している市町村は、全国を見てもない。さらに女満別の地域に関しては空港から5分で来られる。そういうこともアピールの一つとして、質の高い情報の発信をしていければと思う。

山下町長 空港に大勢の人が集い、利用し、楽しみがあるというのも一つではないか、そういう特色のある空港にすることも、PRをしていく一つの材料ではないかと思う。何か一つだけでPRができるわけではなく、いろいろな角度から手を変え品を変え情報を発信していかなければならないと思う。発信力を身につけてまいりたい。



昨年の女満別空港秋フェスのようす

●第10回〔平成27年12月2日開催〕

主な審議項目	説明概要等
公の施設の指定管理者の候補者選定結果	・藻琴山温泉芝桜公園ほか9施設の指定管理者の選定結果
除雪計画	・除雪出動基準～降雪量が7cm以上に達した場合、超えることが予想される場合。
町道の認定及び廃止	・女満別昭和定住団地分譲に伴い認定3路線、廃止9路線、路線名は公園1号線から公園3号線とする。
全国学力・学習状況調査	・小学校 全ての教科「相当低い」、中学校 4教科「やや高い」1教科「高い」
東藻琴小学校体育館耐力度調査の結果	・平成17年度耐震化を実施しており構造耐力は問題なし ・鉄骨の腐食や座屈、柱の傾斜が確認され、保存度が低い数値となった。
◆上記のほか、「土地改良事業の施行について」など全16項目を審議	

●第12回〔平成27年12月15日開催〕

主な審議項目	説明概要等
要望意見書の取り扱い	・TPP「合意」内容の徹底した情報公開と検証を求める要望意見書

●第13回〔平成27年12月17日開催〕

主な審議項目	説明概要等
いじめ防止基本方針の策定	・北海道の基本方針が策定されたことに伴い、町の基本方針も策定する。
高等学校配置検討状況	・大空町の高校づくり（案）に対する意見、今後の検討スケジュール

合同常任委員会（2常任委員会合同での調査）

●第10回総務・第8回産業建設文教〔平成27年10月19日開催〕

主な審議項目	説明概要等
平成27年10月1日～2日にかけての暴風災害	・前線を伴った低気圧が通過したことにより1日から2日にかけて暴風警報が発表された。被害状況及び対応状況についての報告。
平成27年10月8日～9日にかけての台風23号災害	・台風23号により8日に大雨、暴風、洪水警報が発表された。災害対策本部等の設置状況、被害状況及び対応状況についての報告。

●第11回総務・第9回産業建設文教〔平成27年10月26日開催〕

主な審議項目	説明概要等
まち・ひと・しごと創生総合戦略	・戦略（案）に対する意見と検討結果、それを受けた戦略（案）の修正
平成27年度指定管理者制度に係るモニタリング評価	・4段階評価（A～D）で指定管理者と施設所管課での評価を行い、その後選定委員会で評価、試行として実施。（17施設）

●第13回総務・第11回産業建設文教〔平成27年12月7日開催〕

主な審議項目	説明概要等
地域振興施設に係る実施設計等	・用地交渉の状況及び施設の供用開始に向けた今後のスケジュールについての説明。

●第15回総務・第13回産業建設文教〔平成27年12月17日開催〕

主な審議項目	説明概要等
大空町過疎地域自立促進市町村計画	・法律改正に伴い、過疎債借入等を活用するため、平成28年度から平成32年度までの5年間の大空町過疎地域自立促進市町村計画を策定する。



委員会レポート

総務厚生、産業建設文教、議会広報の3常任委員会では、議会閉会中も委員会が所管する項目などの調査を随時行っており、その概要をお知らせします。

総務厚生常任委員会

第12回〔平成27年12月2日開催〕

主な審議項目	説明概要等
東藻琴福寿苑増床計画基本構想概要（案）	・増床部分の概要～敷地面積2,500㎡、小規模特別養護老人ホーム（ユニット型個室30床）、平屋建
ふるさと応援寄附金（11月15日現在）経過状況	・11月15日現在の採納状況～1,026件、26,881千円 ・特典の内訳では、1,026件中821件が「チーズセット」を選択
マイナンバー制度の状況	・通知カードの返戻状況～3,086通中332通、返戻率10.8％ ・マイナンバー制度の動向を時系列に説明
◆上記のほか、「東藻琴診療所医療機器の更新等」など全7項目を審議	

●第14回〔平成27年12月15日開催〕

主な審議項目	説明概要等
財産の取得	・北見東京電波（株）旧女満別工場の土地及び建物の寄附採納 ・寄附日 平成27年11月6日
外出支援タクシー試験運行事業	・試験運行期間（2月～11月）の登録者数及び利用実績
◆上記のほか、「一般廃棄物最終処分場について」など全3項目を審議	



産業建設文教常任委員会

●第9回〔平成27年10月26日開催〕

主な審議項目	説明概要等
大空町10年記念碑建設の状況	・女満別公園跡地記念碑、流氷観測飛行記念碑、北海道簡易軌道藻琴線東藻琴村停留所跡地記念碑、松島武四郎記念石柱の4箇所の状況

産業建設文教常任委員会

道外行政視察報告(10/7、10)

視察先①：福岡県那珂川(なががわ)町議会
研修項目

『町立福岡女子商業高等学校の運営』

那珂川町は、福岡市から13kmのところに位置し、平成2年に全国初の新幹線回送列車を利用した、博多南線の通勤通学新幹線9分で博多駅を結ぶ路線が開通したことにより、急激に人口が増え、現在5万人を超える人口となり、「市になろう那珂川町」を合言葉に頑張っています。

那珂川町立福岡女子商業高等学校は、昭和25年に開設以来65年の伝統を持ち、1万3千人以上の卒業生がいます。募集定員は1学年240名(6学級)で、



福岡県那珂川町の議場にて

在校生は695名と、少子化で生徒の募集に苦慮している学校が多い中、平成34年までは生徒の確保が可能と判断しており、商業科の特性を活かし、在学中に各種資格の取得ができ、就職や進学においても幅広い実績を有しています。

学校法人への移管は、学校経営において大幅な収支不足が生じていることから、平成16年の行政改革推進委員会からの答申を受け、特色ある教育プログラム、財政負担軽減策など、様々な改革に取り組み、その結果を検証し、その上で「学校法人への移管」を決定しており、10年近い歳月をかけて結論が導き出されていることに驚きを感じました。

女子商業高等学校の場合は、財政的な面から、経営が町から学校法人に変わりますが、学校は残りまです。大空町の場合は、生徒数の減少によるものであり、差し迫った課題となっており、那珂川町より難しい選択が迫られるものと考えられますが、情報の管理を徹底するとともに、適期に発信していくことが重要であると感じました。

視察先②：大分県日田市 大山町農業協同組合 研修項目

『大山町の農業の先進的な取組』

大山町は、昭和36年貧しい生活から抜け出したい、そのために1戸あたり50アールほどの狭い耕地を有効に生かし、土地生産性の高い農業による所得の向上を目指して、「うめくり植えてハワイに行こう!」のキャッチフレーズをスローガンに、農業構造改革を始め、平成2年に農産物直売所とレストランを併設した「木の花ガルテン」をオープンしています。

視察に先立ち、レストランを訪れましたが、料理はバイキング方式で、料理の品ぞろえの多さに驚か

され、約80種類、多い時で100種類の献立が並べられるそうです。

野菜を中心に加工品、煮物、季節の果物、大山町で取れた野菜を農家の主婦が料理し、あの手この手と創意工夫をして作られていました。これだけの品ぞろえができたのも、大山の多品目栽培・少量生産方式があったから出来たものと感じました。

農産物直売所は大山本店のほかに、福岡県に3店、大分県内に6店を展開し好評を得ておりますが、昭和53年から大山農協が先頭に立って、たい肥による「オーガニック農業」を推進し、それを「大山オーガニックランド」としてブランド化を図ることににより他との差別化を図っています。

これらの取組は、行政と農協が一体となつてNPO運動をスタートさせるなど、大山町農業協同組合の地産地消活動の基礎づくりに行政も大きく関わっていたものと感じました。



大分県日田市の「木の花ガルテン」にて

視察先③：熊本県氷川町議会

研修項目

『地場産業・特産品振興』

友好町である氷川町は、熊本県の中央に位置し、温暖な気候で農作物栽培に適し、丘陵地では柑橘・梨の栽培が盛んで、特に梨は吉野梨のブランドで台湾にも輸出されています。平坦地では、もち米・い草・ハウス施設による苺・トマト、露地野菜キャベツ・馬鈴薯等が生産され地産地消の取組みのなか安全・安心な作物の提供に努めています。

(有) 氷川町まちづくり振興会は、氷川町の農業振興の拠点となることを目的に平成14年に第三セクターとして設立され、町から、道の駅竜北・氷川町物産館、農産加工センター、物産館と隣接する公園の維持管理を行うと共にツーリズム事業の推進、アンテナショップの運営を行っています。

直売所、レストラン、おやつ工房の販売額、レジ通過客数は平成22年をピークに減少傾向にあり、要



道の駅竜北・氷川町物産館にて



氷川町誕生10周年記念式典に出席し、来賓祝辞として、深川副議長が代読しました

大空町10年記念

女性模擬議会が 開催されました!!

2月6日(土)に『大空町10年記念女性模擬議会』が開催されました。当日は10名の模擬議員さんが、町長及び教育長に対して合わせて18件の質問をされ、とても活発な模擬議会となりました。詳細については、議会だより臨時号にて詳しくご紹介いたします。

議会だよりに掲載する、 『町民の声』『有料広告』を 募集しています!

議会だより裏表紙に掲載していますが、『町民の声』として、町民の方の議会に対する思いや考え、また、『有料広告』として、町民サービスの向上を目的とし、民間事業者等の広告を掲載しています。申込みいただける方及び事業者につきましては、議会事務局(Tel.74-2111)までご連絡下さい!

総務厚生常任委員会

道内行政視察報告(10/28〜30)

視察先①…十勝管内鹿追町議会

研修項目

『自主防災組織の取組み』

・平成25年4月より地域防災委員制度を創設、61行政区役員として地区の推薦を受けた者をもって、町長が防災委員として委嘱している。

・行政防災無線の整備／農家・市街地区の希望者に約730台の戸別受信機を整備、屋外にはトランペットスピーカー10基を設置している。

・地域防災委員の活動内容として、防災に関する研修の参加、防災訓練の実施・参加、要援護者の把握と確認、災害時における状況把握や連絡調整などがある。

・防災ラジオの販売／価格5,000円の防災ラジオを、市街地区に約250台販売している。

●大空町において東藻琴地区1箇所を取組みが始まったところであり、比較的災害の少ない町ではあるが、近年異常気象が多い中で、災害の備えの必要性を感じたところです。



5,000円防災ラジオ、市街地区250世帯が購入

視察先②…十勝管内新得町議会

研修項目

『地域おこし協力隊の取組み』

・新得町では現在、地鶏普及に3名、観光振興に3名、障がい福祉支援に1名、保育支援に1名、移住定住に1名、エゾシカ活用1名、計10名の協力隊員が活動している。

・活動を通じ、産業活性化や家族を含め19名の移住につながるなど、一定の効果があつたことから、さらに5名の隊員を募集されている。

・町の指定する住居へ入居することを条件として、住居費は町が負担している。

・活動の際に要する車両について、業務で必要な場合は町が用意している。

・任期満了に伴う離任者の動向として、酪農ヘルパーや森林組合などに就職されている方がいる。

●大空町においても協力隊員の募集をしているが、町の魅力等、情報発信が重要ではと感じたところです。



実際に活動されている協力隊員さんからもお話を聞きました。

視察先③…上川管内東川町議会

研修項目

『移住・定住の取組み』

・東川町では平成5年に人口7,000人を切ったが、その後、宅地分譲が行われ順調な売れ行きで推移しており、また近年では空き住宅を利用した飲食店等のオープンと移住者が増えており、平成27年3月末の人口は7,967人となっている。

・移住者は、クラフトや家具、写真などの文化的な仕事をしながら生活をされている方、ここ4・5年は飲食店、パン屋、雑貨店等を開店されるケースが増えている。

・東川町の景観に配慮した住宅を建設する際の補助(上限200万円)である「きた住まいる建設推進事業補助金」や、二世帯住宅を新築する際の補助(上限100万円)など、町では特徴的な補助制度を実施されている。

●多種多様な政策と同時に「まず町に来て見て感じ取ってもらう」大切さを知ることができました。



実際に定住団地を視察し、取組等の説明を受けました。

第2期目となる

『議会広報モニター』が決まりました!!

～読みやすい「議会だより」を目指します!～

「議会だより」の企画及び編集等に対する意見・提案等をいただき、より親しまれる議会を目指して広報活動を展開するため、平成25年から「議会広報モニター」を委嘱しています。2年の任期のため、新たに次の方々にモニターをお願いし、「議会だより」についての意見をいただくことになりました。



桼尾 茂 さん



鈴木真寿美 さん



岩原 一 さん



田内 幸 さん



菅野 慎治 さん

議会の情報、より身近に・・・

「まちあえつらん」の議会だよりの「待ち合い閲覧」

「議会だよりを待ち合い用に置きたい」と思われる事業主様がいらっしゃいましたら、お気軽に「議会事務局 Tel74-2111 (内線265・266)」までご連絡ください。

☆置かせていただいた各店等をご紹介させていただきます。(順不同)

《金融機関》

- 女満別町農業協同組合
- オホーツク網走農業協同組合東藻琴支所
- 網走信用金庫 (女満別・東藻琴)
- 郵便局 (女満別・東藻琴)

《美容室》

- リー美容室
- ビューティーサロン大沼
- 美容室ムーブ
- みどり美容院
- ボアージュ
- 美容室ピュア
- はつえ美容室

《床 屋》

- カットサロンみくに
- いずみ
- ルイード
- 大泉とこや
- カットイン福ちゃん
- 熊谷理容院
- ユリ美容室

《病院・歯科》

- 女満別中央病院
- 谷川整骨院
- 守屋歯科医院
- 東藻琴診療所
- おおぞら歯科
- あおさぎ歯科

《公共施設等》

- 図書館 (女満別・東藻琴)
- 女満別研修会館
- 東藻琴農村環境改善センター
- ふれあいセンターフロックス
- 女満別農業構造改善センター
- 大空町役場
- 東藻琴総合支所

《軽食・その他》

- 水芭蕉
- ひまわり
- オホーツク自動車学校
- 一休倶楽部
- 大空町商工会
- 大空町商工会東藻琴支所
- Cafe そら

議会活動掲示板

【行政視察来町対応(本別町議会)(11/19)】

本町の取組みなどを視察するため、本別町議会議会運営委員会の皆さんが来町されました。視察内容は、議会改革、活性化への取組みについてであり、議会を代表して、議会運営委員会正副委員長、議会広報常任委員会委員長及び正副議長で対応し、相互の意見交換なども行われました。



【救命救急講習会(11/24)】

普通救命講習、心肺蘇生法、AEDの使用法などを学ぶため、大空消防署にて各議員が救急講習会を受講しました。



【平成28年消防出初式(1/7)】

消防の仕事始めの行事である出初式が挙行されました。一斉放水や分列行進が行われ、各議員が出席しました。



【平成28年成人式(1/10)】

平成28年成人式が、町議事堂文化ホールにて挙行されました。新たに65名の方が大人の仲間入りをされました。



町内高校生が議会を傍聴されました！

女満別高校2年生22名、東藻琴高校1年生22名が、12月15日、16日の議会定例会を傍聴されました。

公職選挙法の改正により、選挙年齢が18歳に引き下げられることから、授業の一環として見学されたものです。

15日は女満別高校2年生が、町長の行政報告と一般質問を、16日は東藻琴高校1年生が一般質問を傍聴されました。



女満別高校生、議会傍聴のようす



東藻琴高校生、議会傍聴のようす

議会議場はよくテレビで見るような感じで、とても緊迫した雰囲気だった。

自分は来年度に選挙権が与えられるので、積極的に参加しようと思いました。

自分たちが知らないところで、こうして議会の方々が話し合いをして町をよりよくしてってくれてるんだなと今回思った。

議会を傍聴された生徒さんからの感想をいただきましたので、一部抜粋して紹介します。

難しい言葉がたくさん出てきて、わからなかった部分もあるけど、議会を傍聴する機会は私だけではないと思うので、今回傍聴することができてよかった。

選挙のこと、もっと真剣に考えたいと思います。

町のために、人のためにという思いがすごく伝わってきました。

ちょう みる ちやう 町の 声



田内 幸さん
(女満別住吉)

～安心して楽しく子育てできる住み良い町～

大空町に住み始めて4年が経ちました。移住当初はまわりに受け入れてもらえるかなど、心配なこともありましたが、心温かい人達ばかりで、声をかけてくれたり、困った時助けてくれたりと、とても嬉しかったのを覚えています。

子どもが3人いるのですが、保育料が安く、医療費も無料など、支援があったり、子どもを遊ばせられる施設やイベントも多数あり、安心して楽しく子育てできる、住み良い町だと感じました。

この度大空町で飲食店を開業させていただくこととなり、今までと違う目線で町の取組みを見るようになりました。

町の発展のための助成や取組みをしたり、気が付かなかったことがたくさんありました。

これから飲食業を営む者として、町の発展に協力していけたらと思っています。

議会の傍聴は お気軽に!

- ◆定例町議会は、年4回（3月・6月・9月・12月）に開かれます。また、臨時町議会は、必要に応じて随時開かれますので、お気軽に傍聴においでください。
- ◆詳しくは、議会事務局までお問い合わせください。

3月定例会は、

3月8日(火)から

開かれる予定です。

(有) ナカムラデンキ



家電製品・エアコン・エコキュート・補聴器など
お困りごとのご相談うけたまわります。

大空町女満別西1条3丁目1番20号

TEL **0152-74-2616**

営業時間 9:00～19:00



UD FONT



本紙は、見やすさや読みやすさを配慮したユニバーサルデザインフォントを採用しています。
また環境にやさしい植物油インキを使用しています。